

平成26年

季刊

夏季号

Vol.48

亞東



中華民國留日東京同學會・国会議員懇談会



一般社団法人亜東親善協会

The East Asian Friendship Association

目次・協会役員名簿	二頁
叙勲記念写真・玉澤徳一郎名誉会長	三頁
台北駐日經濟文化代表處・沈 斯淳代表	四頁
公益財団法人交流協会・今井 正理事長	六頁
寄稿 張 建國 副会長	七頁
寄稿 赤松則宏 業務執行理事	八頁
平成二十五年 秋の叙勲	九頁
寄稿 玉澤徳一郎名誉会長	十頁
寄稿 顧問 岩城 光英 参議院議員	十二頁
寄稿 顧問 長島 昭久 衆議院議員	十四頁
台北・国立故宫博物院・神品至宝展	十五頁
寄稿 顧問 玉城デニ 衆議院議員	十六頁
寄稿 顧問 橋本 英教 衆議院議員	十七頁
寄稿 並木正芳 業務執行理事	十八頁
一般社団法人亜東親善協会・概要	十九頁
寄稿 柴田徳文 理事	二十頁
一般社団法人亜東親善協会・変遷	二十一頁
寄稿 崎谷秀彦 専務理事	二十二頁
寄稿 齋藤民生 会員	二十四頁
平成二十五年年度国会見学会	二十五頁
平成二十五年年度研修会	二十八頁
平成二十六年度訪台団	三十頁
平成二十六年謹賀新年名刺広告	三十五頁
お知らせ 編集後記	三十九頁

一般社団法人亜東親善協会顧問

(順不同・敬称略)

沈 斯淳	今井 正	根井 洌	毛 友次	林 錦清
小田村四郎	黄 清林	林 瑞祥	長尾孝則	施 梨鵬
鄭 尊 仁	李 純 京	羅王 明珠	謝 文 政	

一般社団法人亜東親善協会役員

名 譽 会 長	玉澤徳一郎			
会長・代表理事	大江 康弘			
副会長・理事	山本 順三	張 建 國	張 碧 華	千葉 健司
専 務 理 事	崎谷 秀彦			
業務執行理事	赤松 則宏	南部 晴彦	益山 茂	並木 正芳
理 事	小松 省二	橋本 靖男	仲谷 俊郎	新井 秀子
	李ハロルド	松永理恵子	多 忠和	三浦 信行
	伊野 雅晴	柴田 徳文		
	莊司 隆一	藤山 雅康		
監 事	青森県・大見光男	岩手県・高橋義磨		
支 部 長	茨城県・石川多聞	広島県・月村俊雄		

祝 叙勲

平成二十五年秋「旭日大綬章」を親授されました



玉澤徳一郎 元農林大臣・元防衛庁長官

一般社団法人亜東親善協会名誉会長

二〇一四年 元旦祝辞

台北駐日經濟文化代表處

駐日代表 沈斯淳閣下

亜東親善協会の皆様、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

まず、このたび二〇二〇年東京オリンピック開催決定、同じアジアの隣人として、心よりお喜びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、台日間にはさまざまな面において大きな進展がありました。人的往来の面では、台日お互いの国会議員、経済界の要人、地方自治体の首長などの相互往来の交流がますます頻繁になり、お互いの国民

の友好感情や信頼感がより一層増して、台日関係は二〇四〇年余りの間で最良の状態となっています。

近年の東シナ海の緊張については、二〇二二年八月に馬總統が理性的な対話と共同開発を通じた平和的解決を呼びかける「東シナ海平和イニシアチブ」を提起したことにより、昨年四月に「台日漁業協議」が調印され、長年の懸案であった漁業問題が大きく進展しました。

それに昨年台日漁業委員会は二回も開催し、双方漁民団体が海上漁業秩序を守るための実務意見交換が出来るました。

また、経済面では、昨年一月には、台日間の「電子商

取引取決め」、「特許等優先権書類電子的交換覚書」、「薬事規制協力取決め」、「鉄道交流了解覚書」、「航空機捜索救難協力取決め」、「金融監督協力覚書」など六項目の取決め・覚書に調印し、台日間の協力分野がより一層広がりました。

これらの取決めや覚書の調印が、相互の産業連携に役立ち、ビジネスチャンス拡大にもつながるものであると確信しています。また、台湾は「環太平洋パートナー協定」(TPP)など、アジア太平洋における地域統合に参加する強い意欲をもっており、このことは、日本およびアジア太平洋地域の利益にも合致するものであると信じています。

観光面では、昨年は台湾から高松、岡山、石垣島などに新たな路線が開設されたほか、観光客の増加で既成路線も増便が相次ぎ、昨年末までに双方観光客の往来は三七〇万人(過去最高)に達しました。特に台湾から日本への旅行者数は五〇%を超える伸びでした。また、青少年交流についても、双方修学旅行の学校数および人数 いずれもますます増えてきています。

文化交流の面では、昨年四月に宝塚歌劇団の台湾初公演が好評を博したほか、三月に東京ドームで開催されたワールド・ベースボール・クラシック(WBC)の台湾対日本の試合は台日の人々を大いに感動させました。また、一月にも台湾で日本代表チーム「侍ジャパン」と台湾代表チームの交流試合や、プ

ロ野球「アジアシリーズ」が開催されるなど、野球を通じて交流がますます活発となりました。

一月二八日から四日間、六〇台のクラシックカーが台湾の文化遺産などを巡りながら台湾を一周する「ラリーニッポンIN台湾」が開催されるなど、台日交流がますます活発となりました。

今年二月の「さつぽろ雪まつり」に台湾の有名観光スポットを氷像にした「台湾・伝統とモダン」が展示されるほか、今年六月から東京で、一月から九州で「台北 国立故宫博物院展」が開催され、日本に居ながらにして、翠玉白菜や肉形石などを含む数多くの故宫の至宝を鑑賞できます。

このような文化交流は台湾と日本の距離をますます近づけるものになることと確信しています。

台湾と日本は自由、民主主義、法治、人権などの価値観を共有しており、地域の安定と繁栄を守るために、手を携えて協力していかなくてはなりません。

最後に、中華民国（台湾）政府及び国民を代表し、台日間の一層の友好増進と皆様のご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

【台北駐日経済文化代表処】

二〇一四年元旦

中華民国（台湾）と外交関係を持つ国（22 カ国）

バチカン市国

The Holy See

サントメ・プリンシペ民主共和国

Democratic Republic of Sao Tome and Principe

キリバス共和国

Republic of Kiribati

パラオ共和国

Republic of Palau

ソロモン諸島

Solomon Islands

ベリーズ

Belize

エルサルバドル共和国

Republic of El Salvador

ハイチ共和国

Republic of Haiti

ニカラグア共和国

Republic of Nicaragua

パラグアイ共和国

Republic of Paraguay

セントルシア

Saint Lucia

ブルキナファソ

Burkina Faso

スワジランド王国

Kingdom of Swaziland

ナウル共和国

Republic of Nauru

マーシャル諸島共和国

Republic of the Marshall Islands

ツバル

Tuvalu

ドミニカ共和国

Dominican Republic

グアテマラ共和国

Republic of Guatemala

ホンジュラス共和国

Republic of Honduras

パナマ共和国

Republic of Panama

セントクリストファー・ネーヴィス

Saint Christopher and Nevis

セントビンセントおよびグレナディーン諸島

St. Vincent and the Grenadines

季刊「亜東」新年挨拶文

公益財団法人交流協会

理事長 今井 正

皆様に謹んで新年のお祝いを申し上げます。

亜東親善協会は一九四九年の設立以来、我が国と台湾との友好親善関係の増進を図るべく、様々な交流活動や支援活動に取り組んで来られました。今日の友好かつ良好な日台関係は亜東親善協会関係者の皆様の長年にわたる不断的努力によるところが大きく、これまでの皆様方の「貢献に対し心より敬意を表します。」

二〇一三年、日台間の実務交流は様々な分野で着実に進展しました。特に四月に台北にて署名された「日台民間漁業取決め」は歴史的成果と言えるもので、日台を越えて国際的にも高い評価を得ております。

他にも電子商取引、特許、薬事規制、鉄道交流、航空機捜索救難、金融監督等六つの分野に関する取り決め及び覚書が交流協会と亜東関係協会の間で署名されました。

これらの署名に至るまでの粘り強い努力をされた日台双方の関係者に深く感謝いたします。文化の面でも様々な交流があり

ました。一〇月には台北において故宮博物院日本展に関する関係者による調印式が開催され、いよいよ本年の日本展開催が確定しました。

また十一月には侍ジャパンが訪台し日台親善野球試合が開催され、その際、日本側から台湾側に対し東日本大震災被災者への支援に対する深甚なる謝意が表されました。

また、二〇二〇年の東京オリンピック開催決定に当たり、馬英九総統をはじめとする台湾各方面から多くの祝意をいただきました。

開催の暁には多くの台湾の友人と共に盛大に盛りあがることを今から楽しみにしています。日台双方の人的往来も昨年はついに史上最高の三五〇万人を記録しました。このように、貿易・経済、文化、スポーツ、観光等あらゆる分野での関係の進展に伴い、日台間の心と心の絆はますます深まっています。

日台関係がさらに深まるよう私も最善の努力を尽くす決意であります。亜東親善協会をはじめとする皆様の御指導・御鞭撻の程をお願い申し上げます。本年も皆様にとり、よい年であることを祈念します。

平成二五年(中華民國一〇三年)
年頭にあたつて

一般社団法人亜東親善協会

副会長 張 建国

明けましておめでとうございます。

今年が日本と中華民國台湾の
友好親善の更なる進展飛躍の年
になります事を祈念いたします。

さて、昨年、日本と台湾は両
国間に正式な国交が無いにもか
かわらず、世界のどの国との関
係にも勝る緊密な親善交流の成
果をあげることができました。

これは、両国の国民が自由と民
主主義、そしてアジアの文化と
いう共通の価値観に基づく絆を
共有していることの証でありま
す。

昨年は四月に宝塚の台北公演
が実現し、日本と台湾の間には
オープンスカイにより多くの航
空路線も開設、

一〇月には台北の松山空港と
四国愛媛県の松山を結ぶ新空路
もでき、日台間の人的往来は年
間三〇〇万を超え、日台間に
いて七つの新しい協定が結ばれ、
中でも長年の懸案でありました
日台漁業協定が締結されました。

おりしも日本と

中国の間で尖閣列島
を巡る問題が発生し
ていたこともあり、
日本の国民に対して、
日本と台湾の友好関
係を強く印象づける
ことになりました。

今年、平成二五年
には、大きなイベン
トとして、長年の念

願でありました、台北の故宮博
物院の日本に於ける公開展覧が
実現することとなりました。六
月から東京において、一〇月か
ら福岡においての展覧が予定さ
れております。

世界的に著名な文物の展示は、
それぞれの開催地域の冒頭の時
期に限定されるとのことですの
で、お見逃しの無いようお勸
めいたします。

昨年十一月、平成二十五年秋の
叙勲に際し、私ども社団法人亜
東親善協会の名譽会長であらせ
られた玉澤徳一郎先生が旭日大
綬章の榮譽を受けられました。

玉澤徳一郎名誉会長の長年に
わたる日本の国政に対する大き
な貢献を顕彰申し上げ、心から
のお祝いを申し上げます。

末筆に、あらためて日台友好
の更なる進展と、皆様のご健勝
を祈念申し上げます。

孫中山 蔣菲娜 蔣經國 蔣宋美齡 蔣介石 (お茶)



一般社団法人亜東親善協会

業務執行理事 赤松則宏

新年明けましておめでとうござ
います。

昨年は弊親善協会運営につき
ましては多くの皆様に何かと御
教示御高配を賜り有り難く厚く
御礼を申し上げます。

本年も会員の皆様がたの御健
勝を謹んで御祈念申し上げます

平成二十五年秋の叙勲で、弊
親善協会元会長・元衆議院議員
玉澤徳一郎（元農林大臣・元防
衛庁長官）名誉会長は、宮中・
松の間において、天皇陛下から
旭日大綬章を親授されました。

並びに協会顧問・亀井久興元国
土庁長官、長勢甚遠元法務大臣
も旭日大綬章を親授されました。
叙勲されましたこと、まことに
おめでたく慶賀の至りに存じ
ます。

台湾人の心へ

お・も・て・な・し

私が初めて台湾へ訪問したの
は、一九八六年の四月、得意先の
創立二〇周年記念の社員旅行の
時でした。

その頃の台湾は国民党政権下
にて準戒厳令の中にあつたが、
ほどなくして、夕刻になると台
北市内の街灯が輝き人々が夜の
街へ繰り出し、龍山寺を中心と
した華西街商店街には家族を連
れた人々や日本人観光客などで
通行できない程、人が溢れて東
京上野のアメ横のような状況で
した。

またその頃から急激なインフ
ラの整備が進められており、台
湾経済六年計画のもとで一般企
業が金融機関に参入し（当初一
六銀行が参入）、高速道路の拡張

整備、地下鉄計画、モノレール
の設置など目まぐるしい程の速
度で経済文化国家へと発展して
おりました。

また、経済国家としてだけで
はなく民主国家へと李登輝總統
閣下、陳水扁總統閣下、そして
現・第一三代馬英九總統閣下が
更に国民が安定した生活が出来
るよう日夜全力を注がれておら
れる。

中華民國は東アジア地域にお
いて重要な地位にあり特に我が
日本国とは、密接なパートナー
関係を構築している。

最初の訪問から二十七年が過
ぎ、ふと振り返ると百五十回位
台湾を訪問していた。

訪れる都度に台湾への興味が
増していき、私は北京語を学ん

だ。そしていつの日からか北京
語にて台湾の人達と日常会話が
なんとか出来るようになったの
は、それだけ台湾が魅力的であ
ったからである。

一九九二年五月、台北・圓山
大飯店十二階の大広間にて台北
北門扶輪社創立五周年の式典が
開催された。その式典には国内
外から約七百名のお客様（日本
から二百名）が招かれた。

台北北門扶輪社会長ご夫妻並
びに会員は、お客様を歓迎する
ため数か月前より準備をしこの
日を迎えたのである。

式典当日ご夫妻は開会から閉
会まで所狭しと、来賓の接待挨
拶に回られていた。

式典も終演に差し掛かつたと
時、ふと婦人席に目をやると出

席している会員婦人たちが目頭を押さえて涙をながしていた。

その時は、式典が無事に終了しようとしている安堵、もしくは感激の涙かと私は感じた。

しかし、真実は全く違った。

なんと式典当日の朝に会長夫人のご尊父様がご逝去されていたのである。

早朝、会長は夫人やその家族が悲しみの深い底にいる中で義父のご遺体の前で土下座して、お父さん今日一日あなたの娘を借りる我儘をお許し下さいと泣のなか許しを請い式典会場へと向かっていたのである。

そして会員夫人達はそれを式典終了の間に知らされたのである。

翌日八時にそのことを知った

私は、とてつもない衝撃を受けた。

会長は式典終了後から翌朝三時まで分散されている二次会会場を駆けずり廻られていたのである。

更に義父が亡くなっているにも関わらず、誰にも悟られないようにし粛々と接待をこなした会長、また実の父が亡くなっているのに気丈に振る舞われていたご婦人の姿が今でも脳裏に焼き付いている。

このような時、私であればいったいどういう行動をとったであろうか？

これが台湾流の「おもてなし」なのだろうか？

ますます台湾への興味は増すばかりである。

平成二十五年秋の叙勲

十一月六日午前、宮中において、「旭日大綬章勲章親授式」が執り行われました。弊親善協会より三名の先生が授章されました。

弊親善協会名誉会長玉澤徳一郎
元農林水産大臣、防衛庁長官

・多年にわたり国会議員として
議案審議の重責を果たすとともに農林水産大臣等として
国政の枢機の参画した

*弊親善協会顧問・亀井久興
元国土庁長官(東京都目黒区)

*弊親善協会顧問・長勢甚遠
元法務大臣(富山県富山市)

大綬章勲章受章者は、宮中正殿松の間において、天皇陛下から勲章を親授され、内閣総理大臣から勲記を伝達されました。

その後、親授された勲章を着用した受章者は、配偶者を同伴し、正殿松の間において、天皇陛下に拝謁しました。



大綬章受章者による記念撮影(於:宮殿東庭)

「旭日重光章勲章伝達式」

協会顧問金子善次郎衆議院議員
協会顧問谷川秀善参議院議員
重光章勲章受章者は、松風の間において、内閣官房長官が侍立する中、内閣総理大臣から勲章と勲記を伝達されました。

その後、伝達された勲章を着用した受章者は、配偶者を同伴し、豊明殿において、天皇陛下に拝謁しました。

誠におめでとうございます。
栄えある受章の栄誉に浴せられたことは、誠に喜びに堪えない次第であります

寄稿

中国革命の大義は失われた

一般社団法人亜東親善協会

名誉会長 玉澤 徳一郎

中国が突然、防衛識別圏を発表したことで、東シナ海の緊張が益々高まることとなってきた。

我が国の国会では直ちに撤回するよう決議した。

中国は、これに反発して、テレビの解説者は、今でも日本が侵略してくるが如きの宣伝を行っている」と報じられている。

反対に日本の解説者は、中国政権は国内での国民の不満をそらして抑え込むため対外的な緊張感を高めるためにやっていることだと説明している。

確かに中国の国内情勢は、経

済成長を急ぐあまりに農民の土地をとりあげ工業化をはかろうとするため、農村を離れざる得なくなった農民が流民化して、それが一億二億人に達しているともいわれ、所得格差が拡大していると伝えられる。

地方での工業化の犠牲になった人々は、地方政府の不当を訴えて三百万件もの訴えを、中央政府に申出るため北京に押し付けてくると伝えられている。

さらに少数民族問題が存在する

少数民族の住んでいる地域に

漢民族が支配者のように移り住んできて、少数民族の文化や宗教を踏みにじり、憎しみと反発が頂点に達していると伝えられ新疆・ウイグル地域やチベット、内モンゴルをはじめ他の少数民族も同様だろう。

さらに、共産党幹部の汚職が国民の批判的になつていっているといわれる。

一党独裁体制では、権力を握る物は許認可の権限の一切をもっているからワイロをもつてゆかなければ物事が進まないし、はかどらない、これが下から上まで一貫している上に司法も牛耳っているため、犯罪として摘発されない。

かくして何百億円もワイロで貯めこむ指導者がごろごろいることとなる。新聞の批判も押えられているし、パソコンまで検閲をうけて、情報も都合の悪いものは遮断されている。

かくして、中国共産党の支配はまさに力による弾圧によるしかない。天安門事件以来、権力を維持する手段に軍を用いるこ

ととなり、国家は国民を抑圧するための機関に果ててしまった。

これは、共産党の政権をになう大義を自ら放棄することを意味する。

今日の共産主義の源であるマルクス・エンゲルスと同時代の社会主義者は国家を悪の権化と考えた。国家は支配階級が人民を搾取しつくす機関であり、抑圧機関である。

したがってこれを打破し、死滅させなければならない。反動支配階級を死滅させなければ、眞の人民の幸福はかちとれないと考えた。

国家に代わるものが社会である。社会主義者といわれる人々はそう考えて革命活動にはいつていった。無政府主義者といわ

れる社会主義者派は最も過激に暴力を用いて国家を死滅させようとした。あまりに過激で計画性がなく一番最初に挫折していった。

これに対し、マルクス・エンゲルスは科学的社会主義と自らを名乗り、歴史的、経済学的、哲学的に分析し資本主義社会が自らの矛盾によって崩壊し、プロレタリア階級がブルジョア階級を打倒して社会主義社会を実現することができることとなえた。

ロシア革命によってマルクス主義が主流となるが、その理想の社会は全く空想的なもので「人々は好きなきに働き、好きなとき食べる」自由で平等な社会であると考えた。

ただ当時一番最初に成功した社会主義革命といわれた一八七

一年晋仏戦争の際のパリコミューンがパリでの蜂起に成功していながら、社会主義同志の規律と団結に欠け、戦略、戦術もなく、晋仏戦争が講和に転じると、戦線から帰った軍隊によって打倒されて失敗に終わったのをみて、マルクスは、最終的に革命が成功するには、革命ののち国家の存続は短期間のみ認め、国家権力を握った革命勢力は、それまでの支配階級、反動勢力を完全にうちのめすこと、ブルジョアジーをプロレタリア階級がこの世から一掃しなければ革命は成功しないという論を編み出した。

これがあくまでも短期間で終るプロレタリア独裁の始まりである。その期間をレーニンは革命に成功したとき十年位とみていたが、実際には一九一七年から一九九一年まで続くこととなる。

しかし、これによっていかに多くの人間が粛清という名によって犠牲になったか、はかり知れない。

ソ連は国家は死滅させることはできないまま、一応ロシアという民主国家になって現存している。

一方中国は、未だにプロレタリア独裁が続いている状態といえる。反動支配階級は居なくなつたはずであるが、プロレタリア独裁をやめて国家を死滅させるという話は聞くことがない。

むしろ、かつてのソ連で言われたノーメンクラトゥーラ（新貴族・支配階級）がはびこつて人民を抑圧している。

しかし、いずれ賢明なる人民達が起ち上がつて自由民主の眞の革命を起こすであろうことを信じてやまぬ。

① 平成二十五年秋の外国人叙勲

財団法人奇美文化基金會會長及び財団法人奇美医院理事長許文龍先生に「旭日中綬章」が授与されました。

平成二十二年二月、並木團長訪台団で奇美博物館本館を訪問、奇美集團創辦人許文龍先生主催歓迎午餐会が開催されました。

日本の産業發展に不可欠な原材料を供給した世界最大のABS樹脂メーカーの創業経営者として、總統府資政として、日台經濟交流の促進に貢献。更に東日本大震災後の巨額な個人寄付等日台間の交流に貢献したとされ、十二月三日交流協会台北事務所、「旭日大綬章」の伝達式が開催され、樽井澄夫台北事務所代表より伝達された。

許文龍先生は受章後「感激した」と述べ、引き続き日台間の經濟關係及び文化交流に貢献していく意欲を示された。

平成二六年「亜東」新年号

一般社団法人亜東親善協会顧問

参議院議院運営委員長

参議院議員 岩城 光英



新年おめでとうございます。
本年の皆様のご健勝、ご多幸
をお祈り申し上げます。

さて、台湾と後藤新平の関
わりは良く知られているところ
です。児玉源太郎總統のもの
と、民政長官として実質上、

台湾の国づくりを一手に任せ
れ、今日の台湾の基礎を作っ
たと言われております。

その後藤新平は、私の故郷
福島県にも関わりがあります。

幼いころから苦学を強いら
れた新平は、後に、須賀川医
学校に入り、医者としての第
一步を踏み出しています。そ
の頃土地の女性達の間では大
変な人気者で、「下駄はちん
ばで着物はぼろよ。こころ錦
の書生さん」という歌は、服
装は貧しくとも色白で聡明な
新平のことを歌ったものだそ
うです。平成十三年には「す
かがわ市民劇」の題材にも取
り上げられました。後藤の精
神を次世代に引き継ぐため本
年六月二十二日には、「須賀

川後藤新平の会」が発足して
おります。

後藤新平と福島県の関わり
は須賀川だけではありません。
後藤に見出され、後藤を崇拜
し生涯交遊を続け、戦前、一
時代を築いた星製薬の星一
（星薬科大学の創設者。作
家・星新一の父）は、いわき
市勿来の出身です。当時、台
湾に十数万人もの阿片患者が
いたと言われていますが、後
藤は阿片の販売を専売制（患
者への許可制）とし、新しい
患者を出さない、という政策
を実行しました。星は、その
阿片の払い下げを受け、外国
からの輸入に頼っていたモル
ヒネの日本初の国産化に成功
し、製品は全て政府に収めま
した。星製薬を一大企業に発

展させ、後藤の政治活動を支
援しました。

さらに、「戦神」と呼ばれ
た根本博中将は、明治二十四
年、福島県岩瀬郡仁井田村（現
在の須賀川市）で生まれてい
ます。陸士、陸大で学び、戦
時中は内蒙古に駐留する駐蒙
軍・日本陸軍北支那方面司令
官でした。

敗戦後、居留民を守るため
に武装解除を拒否し、攻め入
ってきたソ連軍と激戦を展開
しました。そして蒋介石率い
る国民政府軍の庇護の下、在
留邦人（四万人）、将兵（三
十五万人）が無事帰国を果た
した後、根本中将は、昭和二
十一年七月に、最後の船で帰
国しました。

根本中將は、日本人居留民の安全を守り、無事に帰国するために積極的に協力してくれた蔣介石に感謝し、「東亜の平和のため、そして閣下のため、私で役立つことがあれば、いつでも馳せ参じます。」と約束しました。

その約束を、三年後の昭和二十四年に果たすことになりました。支那では国共内戦が激化し、共産党軍の圧倒的勝利に終わろうとしていました。蔣介石の国府軍は敗走を余儀なくされ、台湾に向かいました。

根本中將は蔣介石の窮地を知って、今こそ恩義に報いる時だと決心しました。様々な困難を乗り越え、延岡市（私

がいわき市長の時に兄弟都市の締結をした）の港から釣り船で出港しました。そして台湾に渡り、金門島における戦いで指揮を執り、共産党軍を撃破しました。

台湾のために貢献した、もう一人の日本人です。

ところで、平成二十三年の東日本大震災の後、台湾からは、政府の援助や、ボランティア団体の救助支援に加えて二〇〇億円を上回る世界最大規模の義捐金が贈られました。現在、国交が結ばれていないのは大変残念なことですが、日本と台湾との絆の強さは、過去百年を越える双方の歴史が紡いできたのではないのでしょうか。

また、台北駐日経済文化代表処の馮 寄台前代表は、おそらく任期中最後の日本国内訪問であったのではないかと存じますが、帰国前の昨年三月末、台湾のマスコミ関係者二〇数名を連れて、会津・いわきを訪れました。いわき市ではスパリゾート・ハワイアンズに宿泊され、フラダンスや温泉を楽しみました。福島県内も安心して旅行できることを自らPRしていただいたことは誠に有難く、強く印象に残っております。

同じ自由主義を掲げる日本と台湾が、これからも様々な分野で交流を深めていくことを心から願っております。

② 平成二十五年秋の外国人叙勲

中央研究院近代史研究所兼研究員である黄福慶先生と林明德先生に「旭日中綬章」が授与されました。

十二月十八日中央研究院で、樽井澄夫交流協会台北事務所代表から「旭日大綬章」の勳記・勳章の伝達がそれぞれ行われた。

黄福慶先生は「叙勲は極めて光栄です。現在台日の若い研究者達が交流推進の重要な役割を担っている。日本政府から評価して戴いたことに感謝するものであり、これは中央研究院が受章したものである」と語った。

林明德先生は「長期に渡り協力して戴いた日本の研究者各位に感謝の意を表するものである。台日間の学術交流推進は主に、双方の文化交流の協力であると考えている。今後台日交流がより一層積極的発展していくよう願っている」と挨拶された。

新年の挨拶

一般社団法人亜東親善協会顧問

衆議院議員 長島昭久



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、日本と台湾の友好親善に格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。

いま、日台両国は、過去四〇年で最も良好な関係にあるといわれています。とりわけ、昨年四月、十八年にわたり日台間に

おける最も困難な懸案の一つとなっていた漁業交渉が妥結できたことは、両国関係者のご努力もさることながら、両国民の強い信頼関係の基盤なくして考えられません。

これは、尖閣諸島をめぐる我が国の実効支配に対し執拗なチャレンジを繰り返し、「海のアジア」の平和と安定を破壊しかねない中国に対する効果的な戦略的なメッセージとなりました。

昨年私は、二度台湾を訪問し、馬英九総統や王金平立法院長をはじめ与党国民党関係者および蘇貞昌主席はじめ野党民進党関係者と交流を深めるとともに、台湾民主化の父である李登輝元総統とも久しぶりにお目にかかり二時間余にわたり薫陶をいた

だく貴重な機会に恵まれました。

その中で、私は改めて日台友好の絆の強さを確認させていただくこととなりましたが、その一方で、一九七二年に国交が不正常に陥って以来、民間の経済文化交流を通じて日台間に積み重ねられてきた実務関係の「限界」も痛感させられました。

たしかに、正式な国交を有しない以上、建前として双方に開設された民間団体の連絡事務所を通じて友好関係を発展させるという知恵は各国共通です。

しかし、その実務関係の実態は、日本と他の友好国とは雲泥の差があります。とくに、台湾関係法によって法的基盤をもつ米国と台湾とは、大使館にあた

るAII (American Institute in Taiwan) を通じて、あらゆるレベルで緊密に事実上の(デ・ファクト) 外交的、経済的、軍事的関係を維持してきました。

これに対して、日台関係の現状はどうでしょうか。台湾の駐日大使にあたる台北経済文化代表処の代表が平素相手にするカウンターパートは、外務省の課長補佐レベルだといわれます。

我が国の大使館にあたる台北の交流協会に防衛駐在官として派遣されるのは現役ではなく自衛官OBに止まります。

これほどまでに深化してきた日台関係でありながら、その実務関係の実態は、一九七二年の日中国交正常化当時のまま、過

度に北京政府の反応を気にするあまり、米国のみならず台湾と友好関係を持つ欧州や他のアジア諸国と比べても格段に低いレベルに止まっているのです。

日本との特別なパートナーシップを唱える馬政権の人々の間にさえ、このような日本の消極姿勢に対するフラストレーションが徐々に蓄積されてきていることを私は深く憂慮します。

「交流協会」という名称一つとっても、いったい何の交流なのかはつきりしません。日台交流協会とか日華交流協会に名称変更すべきです。

そして、我が国にも日本版の「台湾関係法」を制定して、日台関係のさらなるレベルアップ

を図るべきです。

国民党政権の下で兩岸関係が改善されている今こそ、北京政府の顔色をうかがうことなく、日台関係をさらに強化する絶好のチャンスなのではないでしょうか。

私は、民主党の「戦略的な日台関係を築く議員の会」の会長として、今年は、このような問題意識の下、超党派の有志議員に呼び掛けて、議員立法で日本版台湾関係法の制定を目指し全力を傾けて参る所存です。

皆さまの一層のご支援、協力を宜しくお願い申し上げます。

「日台で共に創る対等互惠・感動・琴線に触れる交流展」

本年、長年日台で準備を進めておりました、中華民国國立故宮博物院の文物が、日本国東京国立博物館と九州国立博物館で開催されることになりました。

一九九一年より故宮博物院は、アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリアなどの国々に於いて交流展を行ってきました。今回日本での展示はアジア諸国において最初となるもの。

日台両国にとり、最大の文化交流行事、『國立故宮博物院・神品至宝展』の展示品は代表的で状態も良好で有り、展示或は輸送に於いて、安全面の懸念がない収蔵品二三点を選定した。これらの作品の範囲は、日本人々が最も愛好している絵画と書の作品、更には、綴れ織、

陶磁器、青銅器、玉器、漆器、骨董美術品、貴重な古書など優れた収蔵品である。

六月二四日より二週間、東京国立博物館で「翠玉白菜」を、一〇月七日より二週間、九州国立博物館で「肉形石」が、短期展示される。

『日本美術之最・東京・九州国立博物館精品展』

東京国立博物館が海外展示をしたことのない「孔雀名王像」、「観楓図屏風」などの国宝を精品展のリストに盛り込まれた。

九州国立博物館でも「栄花物語」の墨書、太刀など貴重な国宝級の文物を展示に貸し出す。

両博物館が台湾での展示に提供する一五〇点の中で、国宝級の文物は六八点にもなり、これまでにない海外交流展で展示する最高レベルとなる。

《台湾週報より》

新年挨拶

来県をいただきました。

一般社団法人亜東親善協会顧問

衆議院議員 玉城デニー

新年あけましておめでとうございませう

音楽には国境は有りません。また言葉や文化が違っても、音楽ほど心と心を通わせる事のできる手段はないと言っても過言ではないと思われませう。

一般社団法人亜東親善協会の皆様をはじめ、日頃より日本・台湾両国の友好親善にご尽力をされている皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと、心よりお祝い申し上げます。

その意味からも、この交流音楽会が開催されたことは、とても喜ばしい、素晴らしいことだと思います。

さて、昨年の日本・台湾両国における友好の出来事、とりわけ沖縄との出来事を見たときに、私の地元でもあるコザ（現沖縄市）で「沖縄・台湾交流音楽会」が七月に開かれました。

当日は十四族ある台湾先住民の色彩やかな伝統衣装を身にまとった子ども達が、透き通った声で民族音楽や舞踊を披露しました。

そして交流音楽会最後は「涙そうそう」の大合唱。参加者はもちろんのこと、会場にいた多くの関係者や聴衆が盛り上がりましたことは言うまでもありません。

その意味からも、この交流音楽会が開催されたことは、とても喜ばしい、素晴らしいことだと思います。

玉城 デニー

日本国衆議院議員

平成二十五年十二月四日

於…参議院議員会館

東京同學會・国会議員懇談会



衆議院議員

自由民主党

日本維新の会

生活の党

交流協会

岸 信夫 先生

鈴木義弘 先生

玉城デニー先生

斎藤陽子 様

新年挨拶

一般社団法人亜東親善協会顧問

衆議院議員 橋本 英教

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人亜東親善協会の
会員の皆様におかれましては、
輝かしい新年を迎えられたこと
お慶び申し上げます。また平素
より私にお寄せいただいております
ご協力とご支援に對しまして、
厚く御礼を申し上げます。

また昨秋の叙勲において、亜
東親善協会名誉会長であり、私
の恩師でもあります玉澤徳一郎
先生が、旭日大綬章をご受章さ
れましたこと、このうえない喜
びであり心よりお祝い申し上げます。

一昨年に当選させていただい

てから一年がたちましたが、私
の人生の中で、最も早く感じら
れた一年間でした。

参議院選挙が終わり、臨時国
会が始まる前の九月には、自民
党青年局の研修で台湾へ訪問い
たしました。私にとりまして台
湾訪問は特別な訪問でした。

二〇一一年三月十一日におこ
った東日本大震災で地元岩手県
の沿岸部は壊滅的な被害を受け
ました。私の実家も流され、仲
間も多く失いました。街全体が
失われ途方に暮れたときでした。

その時に台湾の方々はいち早
く支援を決めていただき、すぐ
に行動をとっていただきました。
救援隊の準備、物資支援、義捐
金等、大変お世話になりました。
私はそのニュースを聞いたとき、
言葉では言い表せない感動をお
ぼえました。

当時はまだ浪人中の身であり
ましたが、絶対に台湾の皆様
に感謝の気持ちを伝えなければ
ならないと心に誓ったのを覚え
ております。

また震災後の現在も災害復興
住宅の建設費や保育園の建設費
負担等の街づくりの支援もして
いただいております。そのお礼
をおもっており、今回の青年局の
訪問は私にとってはお礼の訪問
でございました。

馬英九總統を始め、関係皆様
方に感謝の気持ちを伝えること
ができて大変良かったと思
っております。また亜東親善協
会の皆様にも大変お世話になり
ましたこと心から御礼申し上げ
ます。

最後になりましたが、昨年同
様のご愛顧たまわりますことお

願い申し上げますとともに、亜東
親善協会の皆様のご健勝とご活
躍を祈念いたしまして、二〇一
四年の私の新年の挨拶と致しま
す。

自由民主党青年部

青年局幹部海外研修訪華団



平成二十五年九月一〇日

中華民國總統府にて馬英九總統と

前列中央・小泉進次郎青年局長、

二列目左から三人目・橋本英教先生

『日台のパートナーシップ の強化を!』

一般社団法人亜東親善協会

業務執行理事 並木正芳

新年明けましておめでとうございます。

昨年は当協会の事業に対し多くの皆様にご協力をいただき誠に有難うございました。私からも感謝を申し上げますとともに皆々様の本年のご多幸とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

国の友好の礎は民間の交流にあり、お互いの国民がどれだけ往来し、たとえ異なる文化や考え方であっても如何に理解を深めるかが基となります。

日本と台湾の間は、一昨年のオープンスカイ協定締結により、昨年、鹿児島・静岡・富山などと台北の間に新航空路線が次々

に開設され、十月には日本の愛媛県松山空港と台北松山空港との間にチャーター便が就航し、世界初の同一地名間の就航となるなど、ますますその距離が近くなりました。

その効果も相俟って昨年の十月末までで、日台間の往来者数は三百十六万三千三十八人と一昨年の年間二百九十万人を既に上回り年間では四百万人に迫る勢いであります。

三月に東京で開催されたワールドベースボールクラシック二次ラウンドでの日本と台湾戦は実力伯仲の大激戦でありましたが、スポーツマンシップに溢れる双方の試合態度、応援態度はたいへん立派で清々しささえ感じられ、観衆は両チームに惜しめない大拍手を贈りました。

私も西武沿線や所沢市の少年

野球連盟の会長を務めています。が、野球少年たちの記憶に残る素晴らしい試合だったと感動させられました。

また、私が顧問を務める中学生の野球チームの台湾訪問や台湾チームも参加しての小学生の国際テニスボール大会など青年のスポーツ交流も年々盛んになっています。

四月に台湾で催された「宝塚歌劇団」の初公演もチケットが事前に完売され大成功の裡に終了しました。

六月には和歌山県の白浜温泉と台湾宜蘭県の礁溪温泉が姉妹温泉というユニークな提携を結び、亜東親善協会の昨年度の訪台事業として十一月に礁溪を訪問、礁溪郷長と観光協会理事長に「桜の苗木を贈呈」として

もに、日本企業が委託されてつくった「温泉公園」や極めて精緻な彫刻で知られる「呂美麗精彫芸術館」などを見学しました。

礁溪郷湯仔城温泉産業暨観光發展協會理事長 蕭錫鑫先生



今年の六月からは、東京と九州で待ちに待った台北の「故宮博物院特別展」がいよいよ開催され両国の友好交流はさらに強化され、相互の理解と信頼が深まると期待します。

このように文化・観光・スポ

ーツ交流は活発となり日本と台湾の人々の民意も共に「三分の二が親しみを感じる」と極めて良好ですが、経済においても最も重要なパートナーであります。

「台湾は日本にとって世界第五位の貿易パートナーで、日本は台湾にとって世界第二位の貿易パートナー」であり、また過去六十年間の海外からの「対台湾投資累計では、金額で第四位、件数では第一位」である相互の経済分野の協力関係はもちろんですが、私は、大陸中国に対する経済的パートナーシップでも協力を密にするべきと考えます。

台湾と大陸中国両岸の人的往来は最大であり、台湾にとって大陸中国は最も重要な貿易パートナーで、何と台湾の対外投資の六割以上が大陸中国向けとなっています。

日本もまた金額では台湾以上の大陸中国へのトップクラスの投資を行って来ましたが、反日暴動を契機として日本の対大陸投資は減少しASEAN諸国へとシフトしようとしています。

台湾からの大陸中国への投資も鈍化して世界的にもチャイナリスクに対する懸念が強まる中ですが、日本・台湾・大陸中国・アメリカの四角貿易はなお重要です。

大陸中国が軍事大国化するのとなく、様々な面で国際的なルールに則った民主的国家へと移行して行くためにも、民主主義・自由・人権などの価値観を共有する日本と台湾のパートナーシップの強化がますます必要と確信します。

今年もよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じて、友好親善の増進を図る。

事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の斡旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

台湾雑感

一般社団法人亜東親善協会

理事 柴田徳文



私は国士舘大学に奉職しているが、この大学と台湾の関係は一九七〇年代に遡る。

後の亜東関係協会会長林金莖閣下が東京弁事所の副代表をされておられたときからである。閣下は日華断交以前在日中華民国大使

館の政務参事官をされておられ、その折から国士舘大学の当時の副学長であった私の父と交友が生まれていた。

その後、閣下は亜東関係協会の副代表となられ、私の父は国士舘大学総長に就任した。この時から大学として台湾との親交が始まり、台湾の有力大学との学術交流協定締結のお世話もいただいた。

またスポーツ交流も盛んとなり、国士舘大学は台湾にラグビーなどの遠征チームを派遣し親善試合を重ねた。

国士舘大学がアメリカにあるセント・ジョーンズ大

学と学術交流を行うこととなったのも林閣下のご努力の賜物である。全米一のカトリック系大学であるセント・ジョーンズ大学は、バスケットボールや野球、サッカーの強豪校である。そして同校にはアジア研究学部があるが、これを設立したのは中華民国出身の学者であるポール・K・T、薛博士であり、その設立や活動に中華民国が多大のバックアップを行っていた。私は林閣下のお勧めによつて一九七六年から同校に留学することとなった。

同校のアジア学部には大学院もあり、そこで学位取得のための勉強を行ったが、校友の多くが台湾か

らの留学生であった。日本人留学生は私一人であった。

MAを取得する傍ら、私は中国文化の多くをそこで学ぶことが出来た。薛博士を初めとする中国人の教授たちは日本人の私を分け隔てなく指導して頂いた。また先生たちの自宅にたびたびご招待いただき、中国人の生活の姿を目の当たりにすることが出来た。

私の拙い中国語の取得もこの留学の恩恵である。学位取得の条件として外国語の単位が必修となっているが、ドイツ語やフランス語でアメリカ人学生と競争する自信はなかつ

た。また母国語を取ること
も出来なかった。

中国語なら漢字の知識
についてはアメリカ人学
生に負けないだろうと、中
国語を履修することにし
た。しかし同じ漢字を使っ
ているとはいえ、中国語は
やはり外国語であった。こ
とに発音には苦労した。そ
の際も周りにいた中国人
留学生に大変お世話にな
った。台湾出身の学生の中
で北京語の発音の上手な
人に頼んで指導をしても
らった。

そのようにして取得し
た中国語だが、いまではす
っかり錆びついてしまっ
ている。誠に残念なことだ。
もし可能なら定年後台湾

に語学留学をしたいもの
だと思っている。

私は中国人の友人に恵
まれた。台湾人である中国
人もまた大陸にいる中国
人も人間として素晴らし
い人が多くいる。私は台湾
の人々を台湾人・中国人と
分けたくない。

皆さんが素晴らしい台
湾人だと思っている。台湾
の地位が今後どのような
なるのか分からないが台
湾の島にいる素晴らしい
友人たちといつまでも楽
しい交流を続けていきたく
いと願っている。

亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするア
ジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された
『華南俱樂部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でし
たが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義
を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結
果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とと
もに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明
は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大き
な変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉二郎先生（衆議院議員）は、俱
楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、
灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発
起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』
を設立致しました。千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議
長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍され
た藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二十一世紀の幕開けとともに
玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程
に成長しました。かかる情勢の中、二〇二二年、会長にお迎えし
ていた自由民主党総裁安倍晋三衆議院議員が内閣総理大臣に就任
され、代表理事及び会長の職務を辞されました。

後任に会長代行・大江康弘参議院議員の代表理事が承認され、
一般社団法人移行に伴い、二〇一三年 第一回通常総会に於いて
代表理事・会長に就任されました。現在、領土問題等の紛争、北
朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積し
ております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会員一同、役員陣
容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

祝！玉澤徳一郎 名誉会長
平成二十五年

秋の叙勲の榮に浴す

一般社団法人亜東親善協会

専務理事 崎谷秀彦

初春のお喜びを申し上げます。
皆様には、お健やかに新しい年
をお迎えのことと拝察申し上げ
ます。

昨年は会員各位のお力添え
により、新法人法に基づく一般
社団法人への移行申請が年度
末までに認可され、新年度四月
一日より一般社団法人亜東親
善協会として、再スタートする
ことができました。

一般事業については、おおも
ね事業計画通り実施する事が
でき又新法によって義務付け

られた公益目的事業について
は、当協会として行政府に提出
した公益目的事業計画書によ
り

継続事業①（講演会の開催）、

継続事業②（社会見学会の実
施）の二件を事業概要に副って
実施してまいりました。

この継続事業二件については
来年度以降もより充実した事
業として業務執行理事を中心
に実施していく必要があります。

又、広く公益に資するため多
くの方々に広報することも必
要である。二年目を迎える当協
会としても飛躍の年でありた
いと念願します。

さて、昨年後半には私共に嬉
しいニュースが飛び込んで参

りました。既にご案内の通り当
協会の元会長、現名誉会長の玉
澤徳一郎先生が秋の叙勲にお
いて旭日大綬章の榮に浴され
ました。

このことは、ご本人、ご家族
はもとより私共多くの関係者
にとりまして、誠に同慶の
至りに存じます。

玉澤先生の功勞については、
今更私から申し述べるべくも
ありませんが、敢えてご披露さ
せて頂くならば多年にわたり
国会議員として、その重責を果
たすとともに元農林水産大臣、
防衛庁長官、衆議院農林水産委
員長、衆議院武力攻撃事態への
対処に関する特別委員長、農林
水産政務次官、等々国政の枢機
に参画した。その功績は大きな
ものであったと思います。

ここに改めて敬意を表する
とともに心よりお祝い申し上げ
ます。

多くの国民にとって、また玉
澤先生におかれましては忘れ
ることのできない「三・一一
東日本大震災」あの未曾有の
自然災害に東北地方は壊滅的
な打撃を受け世界中から多く
の支援が寄せられました。
復興はまだ道半ばです。

東北岩手県ご出身の先生は
大変心を痛められ農業・水産業
はじめ多くの同志の復興支援
に日夜奔走されたと聞いてお
ります。

支援で私共協会関係者はおも
とより日本国民が忘れてなら
ないことは、隣国台湾からの大
きな援助でした。

人道的な支援はもとより二〇〇億円をこえる多額な義援金、救援物資、等々いち早く被災地に届けられ日本中が勇気づけられたことはまだ記憶に新しい。

玉澤先生は、二〇〇一年藤尾会長の後任として、第四代亜東親善協会の会長に就任された訳ですが、就任の挨拶で台湾との関係（一衣帯水・運命共同体を念頭に）について次のように述べられております。

「二十一世紀の幕開けは激動と苦難に満ちておりましたが、世界的視野にたつてみると今世紀はアジアを中心に展開すると考えております。」

多くの人口が集中していること、未開発の資源・エネルギー

ーを内包していることなど大きく躍動する力を感じさせられます。

しかし、安全保障の面では平和と安定が着々と築かれている欧州に比べ、アジアにおいては朝鮮半島、中台関係、インド・パキスタンの関係、アフガニスタンをめぐる動向など、多くの課題を抱えております。

アジア地域繁栄の鍵は、いかに地域の対立、紛争や戦争の拡大を阻止し、平和と安全を確保するかにかかっているといえるでしょう。

日台関係の友好親善に活動する亜東親善協会の持つ役割と使命も正にここにあります。私は、あらゆる国の人々に対し

【徳は弧ならず、必ず隣りあり】

と伝えてまいりました。そして我が国こそが、民主・自由主義陣営の同調者である

台湾のすばらしさを感応できる隣人となり、共に友好親善に努めなくてはならないと考えております。」

（就任挨拶文より一部抜粋）

今まさに、政権が直面している大きな外交課題を会長就任時から提言されていた洞察力に敬服いたします。

平成二十五年秋の叙勲の栄に對し重ねて祝意を表します。

ご健康に留意され、国家国民のため、又日台友好親善に更なる提言を賜りますならば幸甚に存じます。



孫 中山 先生
蔣 介石 先生
馬 英九 總統

中正紀念堂にて

平成二五年訪台団報告

一般社団法人亜東親善協会會員

斎藤 民生

一般社団法人亜東親善協会
訪台団一行、大江会長以下十名
は早朝、羽田国際空港を發ち、
台北・松山空港に着いた。

先ず最初の訪問、忠烈祠の衛
兵交代のセレモニーを見学。

忠烈祠は中華民國の建国、及
び革命、抗日戦争に於て戦没し
た英靈を祀る祠で国防部の管轄
儀仗兵が一時間交代で大門と
大殿を各二名で一時間微動だに
せず瞬きも控え直立不動の姿勢。

衛兵交代のセレモニーは儀仗
兵六名が大門から大殿に向かっ
て隊列を組み行進。所用時間は
約二十分。一糸乱れずの行進に
は驚かされる。

次に、日本の国会にあたる立

法院を訪問。何台かのテレビカ
メラ放列の中、中華民國立法院
長 王金平先生を表敬訪問。

立法院院長は日本の国会の議
長（台湾は一院制）にあたる方
であり、王金平先生は大の親日
派で二〇一一年には約三〇〇人
の観光訪問団を伴い来日、北海
道を訪問されたという事を知る。

事前の知識では王金平先生は
李登輝總統に近く国民党内では
「本土派」の代表的人物といわ
れ「台湾独立も選択肢の一つ」
との発言。気骨のある方で私に
も氣脈相通じるものがあるのを
感じる。

大江先生より東日本震災の
援助の謝意、漁業協定の解決へ
の感謝を述べられた、

王金平先生より日本と台湾の
関係強化の重要性を力説、両国
観光、国の交流が今年は今迄に

ない人数に上がった事は喜ばし
い事であるとの話しがあった。

王金平先生は日本にお見えに
なった時、日台米の絆の重要性
を日本の有力な政治家に説いて
まわったということの後で日本
に帰って聞きました。

台北国賓大飯店に戻る、亜東
関係協会主催歓迎会が一行十人
と台湾外交部の方を交え催され
た。私の隣に座った若い外交部
の方は日本留学の体験があり日
本の食事では納豆の事を誉めて
いただいた事と日本では家賃が
高く敷金礼金前家賃でかなりの
金額になったことを披露された。

そして尖閣諸島の問題に話題
を変えると、いずれ大変な方向
にいくのではないかと憂慮して
いた。別隣の外交部に台湾の親
日の理由を尋ねると戦前の統治
の教育を第一の理由にあげてい
た事が印象的でありました。

本年六月、和歌山県白浜温泉
と宜蘭県礁溪温泉間で姉妹温泉
提携の調印が行われたことによ
り宜蘭県礁溪郷庁・林郷長を表
敬訪問。桜木の目録を贈呈。

礁溪温泉は台湾第二の温泉街
でこのあたりの以下には地形上、
地下水が豊富なことと地下のマ
グマの熱源が断層を通っている
ため高温の温泉水がでるそうで
あります。又、公園には檜造り
の足湯温泉がいくつもあり足湯
を楽しんでいる人達を見かけた。

日本でも温泉に足湯の温泉場
は駅近くに見かけるが、その大
きさと温度においては礁溪温泉
には敵いません。台湾の氣候風
土が足湯温泉に向いているもの
と思いました。

以上、今般亜東親善協会訪華
団に同行して簡単な報告及び感
想であります。

国会議事堂見学及び国会議員・
中華民国留日東京同學會懇談会

平成二十五年十二月四日（水）

恒例の協会事業の一つ。中華民
國留日東京同學會（台湾からの
留学生・東京が中心の集まり）
と協会共催で参議院議員会館の
会議室で一八名の會員が参加し、
顧問国会議員、交流協会、台北
駐日經濟文化代表處、日華議員
懇談会、日本華商總會の役員ら
が出席し、開催されました。

当日、参議院では「特定秘密
の保護に関する法律」の質疑が
参議院国家安全保障に関する特
別委員会（中川雅治委員長）で
開会されたため、協会顧問参議
院議員は、懇談会には出席が出
来ませんでした。

懇談会に先立ち昼食会を開催、

留学生の希望による国会名物の
「国会弁当」を手配致しました。
公務多忙の中、今年七月に初
当選された参議院議員・佐々木
さやか先生が、会議室を訪れ「本
日は公務の為、懇談会に出席で
きず、皆さんとお話が出来ず申
し訳ない」と挨拶された。



懇談会出席者

一般社団法人亜東親善協会顧問

衆議院議員 岸 信夫先生

衆議院議員 鈴木義弘先生

衆議院議員 玉城デニー先生

代理出席

参議院議員岩城光英事務所

参議院議員山本順三事務所

参議院議員松下新平事務所

公益財団法人交流協会

齋藤陽子様（総務部副長）

台北駐日經濟文化代表處

片瀬美恵様（新聞組）

日華議員懇談会

橋本靖男様（事務局長）

日本華商總會

林 三統様（副会長）

一般社団法人亜東親善協会

並木正芳（業務執行理事）

益山 茂（業務執行理事）

南部晴彦（業務執行理事）

小松省二（理事）

藤山雅康（監事）

主催者を代表して、元衆議院

議員・並木正芳理事が「本協会

は日本とアジア諸国との経済

文化の提携および交流を通じ、

友好親善を図る事を目的に活動

している団体である」挨拶した。

岸信夫・衆議院議員は「日台関
係は、先輩たちが営々と築き上
げて来たものであり、この関係
を次の世代に引き繋いでいかな
ければならない。皆さんは日本
にいる間に、文化など日本につ
いて多くのことを吸収し、日台
関係のさらなる発展のために、
大いに努力してほしい」と挨拶
された。



また、留学生からの「台湾の留学生に対し、どのような期待をしているのか」という質問に対しても「特に地方を廻り、色々なところを見て、時間があればそこで交流もして来てほしい。皆さんこそが、これからの日台関係を築いていく力だ」と述べられた。



鈴木義弘・衆議院議員は、私は国会の中でアンパンマンと呼ばれていますと自己紹介された。「皆さんには、日台の交流をさらに深め、双方の良い面を吸収

し、上手に融合させ、新しいものを作る原動力になってほしい」「日本で様々な人たちとの交流を通して、双方の国の人たちのそれぞれの感性が、なぜその国の中で醸成されてきたかといった、物の見方を培ってほしい」と台湾の留学生に対する、期待を挙げられた。

玉城デニー衆議院議員は、私の出身は台湾から一番近い日本沖縄県です。



「沖縄は台湾と同じような風俗習慣が多くある」ことを紹介された。さらに「自国の歴史を含め、周辺各国の文化の歴史や、民族の歴史を日本の学生と話し合って欲しい」と述べられた。



日華議員懇談会・橋本靖男事務局長は、この会は、日本が台湾と国交を断絶したため、一九七三年に日台関係強化を目的とし

た超党派の議員連盟であり、中華民国立法委員と提携している。「青年ワーキングホリデー」「オープンスカイ協定」「台日投資協議」「台日漁業協議」等締結。

日台両国文化交流のため、中華民国国立故宫博物院の日本での展覧会を開催するために、関連法案をつくり、来年開催できることになった。

公益財団法人交流協会・齋藤陽子総務部副長は、日本と中華民国・台湾は国交がない【日本側・日本交流協会、中華民国側・台北駐日経済文化代表處は、実質的には在外公館として実務処理を行っている】なか、事務連絡協議等をおこなっている。

皆さんの留学に際しての奨学金は、日本政府文部省から交流協会が引き継ぐ事業として、日本の公立及び私立大学の大学院で学位を取得しようとする台湾留

学生に、日台交流の推進を図る
目的で支給していると話された。

・留学生よりの質問は、日本で
の外国人研修生・労働者の受け
入れ人身売買取引については？
・日本の高齢化社会の中、研修
制度という事で、どのような労
働力を受け入れられるか、どの国
からか難しい。労働ビザ、特殊
技能・単純ビザ等、オーバース
テイ、WTO、義務教育等々の
諸問題もある。人身売買取引に
ついては把握していない。

・一九七二年日華条約終了後、
日華議員懇談会には感謝してい
ます、台湾派の大物国会議員が
年と共に、逝っていく中、米国
（台湾関係法）のように台湾と
の関係を国内法に規定しておら
ず、人の関係で構築している以
上、日台関係は今後どうしたら
よいのですか？

・超党派の議連・日華議員懇談
会には、本年も多数の台湾派と

いわれる与野党新人国会議員が
参加されております。

・台湾の立法院では、法案改正
する際に激しい乱闘行為がよく
起こっています。どう思います
か？そして国会で意見が分かれ
ている議案において、会議場の
場面はどういう感じですか？



・最近では大きなものは無くな
った。衆議院議員は、どちらか
というとおとなしく、参議院は

プッシュが強い。聖徳太子が作
ったとされる一七条憲法冒頭に
【以和為貴、無忤為宗・和をも
つて貴しと為す、忤ふること無
きを宗とせよ】とあり、まあま
あ仲良くするという島国である。
○質問・相談ことは、議員会館
に直接連絡をして下さい。

懇談会終了後、出席国会議員
を囲み、記念写真撮影会が行わ
れました。



中華民国留日東京同學會のメ
ンバーは国会議事堂内参観（参
議院で特別委員会が行われてい
るため）を衆議院側より行った。
初めて国会議事堂を訪れた多く
の留学生は、衛士の案内で興味
深く衆議院の議場（参議院は左
右対称）、天皇陛下のお休所
中央広間等を見学した。



国会議事堂正門前にて記念撮影

平成二十五年「忘年の集い」
平成二十五年十二月十日（火）
明治記念館・鳳凰の間

研修会・懇親会として、年末恒例の集いです。協会役員・会員及び家族、国会議員、台北駐日経済文化代表處、交流協会、台湾協会、留日華僑団体関係者、八十名余りが参加されました。

忘年の集い実行委員長 多忠和
理事の開会の辞で開会された。
司会 並木正芳業務執行理事
懇親会に先立ち、台北駐日経済文化代表處・徐瑞湖駐日副代表は「台日関係の現状」について講演されました。

徐瑞湖駐日副代表は、新年の挨拶を述べ、七月までは代表處札幌分處處長であり、在任中は本日も出席の衆議院議員伊東良孝先生には大変お世話になった。と挨拶されました。



日台関係については、馬英九總統が小泉進次郎・衆議院議員ら自由民主党青年局幹部の訪華団一行並びに平沼赳夫・衆議院議員を代表とする日華議員懇談会の双十國慶節祝賀団一行らと会見した際に「現在、中華民国（台湾）と日本との関係はこの四〇数年において、最も良い関係にある」と述べたこと挙げ、「これは色々なデータおよび台日間の現状を見ると、確かに一

番良好であると言うことができる」と強調し、

今年四月に調印した「台日漁業協定」や一月に「電子商取引」など五項目の覚書・協議への調印および「金融監督協力覚書」の調印が実現したことを具体的に紹介された。

人的往来面についても、二〇一二年に双方間では二九九万人の往来があったが、今年は一月上旬の時点で台湾から日本を訪れた旅行客数だけでもすでに約二〇一万人に達し、年末までには二四〇万人になると予測されており、これは昨年の五五%増となることなどを説明された。

文化面については、今年は宝塚歌劇團の台湾公演が行われ、好評を博したことや、来年は国立故宮博物院の日本展が東京と

福岡で開催されることにも言及し、「アジア地域で初の開催となる。これまで海外で開催した中で、一つだけ違うところがあります。それは、東京国立博物館で「翠玉白菜」、および九州国立博物館で「肉形石」が初めて海外で展示されます。さらに、二〇一六年一〇月〜二〇一七年一月には日本の両国立博物館の宝物が台湾で展示されることになる」と述べられた。



主催者を代表し、大江康弘会長は「この日台関係をさらに揺

るぎないものにしていくことが、我々に当てられた課題であり、責任であると感じている」と挨拶した。



来賓を代表して、公益財団法人交流協会・今井正理事長は、お招きを戴き有難う御座います。「日台間には今年一年だけでも大きな進展があった。双方の関係は、本当に特別な関係であると感じている。その広がり、奥行き、深さ、濃さは、どこにこれほどの関係があるのかと思う」と挨拶されました。

岸信夫・衆議院議員も「歴史ある協会の集いに、お招き戴き有難う御座います。」

日台間は関係強化が進んだと思う。日台間に国交関係がないが、それ以上に、それぞれの関係で、重層的关系を積み重ねている。それが何よりも双方の国民の心の繋がりになっているのであろう」と述べられた。



- 衆議院議員・伊藤良孝先生
- 衆議院議員・藤原崇先生
- 参議院議員・井原巧先生
- 参議院議員・松下新平先生

先生方は、日台友好関係に一層尽力し、今後ともさらなる日台友好関係の安定と繁栄と関係強化のために、亜東親善協会の益々の発展と皆さまの活躍を祈念する旨の挨拶を戴きました。



乾杯のご発声は、衆議院議員・宮路和明先生が、ご来賓を代表し、挨拶、音頭を取られた。代理出席 山本順三参議院議員 亀岡偉民衆議院議員 歓談が続くなか、弊親善協会 張碧華副会長が日本と台湾との友好関係とご出席者のご発展を祈念し、恒例の三本締めの手締めを行いました。



年末、公私ご多忙の中、ご臨席賜りました会員各位、誠に有難う御座いました。

一般社団法人亜東親善協会
平成二十五年「多謝」訪台団

開催日 平成二十五年十一月八日

平成二十五年十一月十日

訪問地 台北市・宜蘭縣礁溪鄉

参加費 壹拾萬八千円（二人部屋）

宿泊 台北國賓大飯店

団長 大江康弘協会会長

親善交流を目的に毎年実施している台湾訪問の旅です。

最終日程は、外交部との協議を重ね訪問三日間、漸く五日に固まり、参加者の皆様にはご心配をお掛け致しました事、誠に恐縮に存じます。

昨年、玉澤名誉会長が団長となり「謝謝台湾」は、高雄市・台北市を訪問し、東日本大震災に際し台湾国民からの多大なるご支援に対し、謝意を伝えました。

宜蘭縣との関わりは、玉澤・

並木両訪台団で訪問し友好親善を図る中、日本よりの「櫻木」贈呈の話がありました。

本年六月、宜蘭縣礁溪鄉湯仔城温泉産業暨觀光發展協會と和歌山県白浜温泉国際観光交流協議会とで大江会長立会いの下、姉妹提携調印式が行われました。

亜東訪台団礁溪鄉庁訪問に際し、礁溪郷公所と打合せを重ね、贈呈式を行う運びとなりました。

日本から「櫻木」を持ち込み致しますと検疫で一カ年掛るとの事でしたので台湾で接ぎ木した「櫻木」を手配致しました。

一日目（十一月八日 金曜日）

羽田空港中華航空カウンター

で各自チェックイン後、空港出発ロビー中華航空ラウンジ集合。定刻羽田を離陸。中華航空二二三便は定刻松山機場に到着。

空港では、亜東關係協會・王東生先生、担当の林雍凱秘書に出

迎えて戴きました。日程の都合で台北國賓大飯店に手荷物を預け、台湾料理レストラン「欣葉」

で昼食。機内食を戴いていたのですが、豪華で沢山の料理で有りましたが、果物・お菓子まで団員は満喫されておりました。

食休みを兼ねて圓山大飯店でコーヒープレイク。平日ですが大陸の人たちで大混雑でした。

専用車で忠烈祠大門牌樓を潜り、現在改装中の山門前で下車。國民革命忠烈祠管理組楊光耀組長（空軍出身）始め組員の皆さんに大殿へと案内されました。大殿では獻花式典の用意が整っておりました。

【國民革命忠烈祠】での獻花式
只今より亜東親善協会会長・大江康弘先生が引率する訪台団の獻花式を
挙行いたします。*式次第*

（司会）「大江先生、列の前に、お進
みください。」

「それでは獻花を始めます」

（憲兵に花環を頂き、ご自身の顔の上に持ち上げ、お辞儀をし、花環を自身の胸元に持ち、憲兵にお返しく下さい）
「中華民國の英靈（中華民國の為に尊い命を落とした英靈に）にお辞儀を（司会の号令により）して下さい。」

お辞儀（一回目）（二回目）（三回目）
（司会）列に御戻り下さい。以上を
持ちまして獻花式を終了致します



國民革命忠烈祠大殿で記念写真

立法院に到着、正面入口には院長秘書の劉清音さんが出迎えて頂きました。劉秘書の案内で院長応接室に。応接入口廊下には沢山のメディアのカメラが待ち受けており、我々訪台団一行を撮影されておりました。



謁見室には、外交部亞東關係協會・羅坤燦秘書長（八月まで台北駐日經濟文化代表處副大使）立法院秘書處・莊麗珍處長が迎えてくれました。臺日國會議員

聯誼會（日本の日華議院懇談会にあたる）・李鴻鈞會長（日本大學卒業）がお見えになり団員全員と名刺交換をされました。



立法院長・王金平閣下が入室され、訪問団員全員に握手・ご挨拶を交わされました。

双十國慶節と同じく、非常にお元気なお姿で我々をお迎え戴きました。蘇定東先生（外交部秘書科翻譯組で馬英九總統、立法院長の日本語通訳）の通訳

で我々訪問団の来台に対し、歓迎の意を表され、ここ数年の台日関係が非常に良い状態である、亜東親善協会の永年に亘る台日友好親善活動に深い理解と敬意を示された。



大江会長は、王院長の歓迎の挨拶に応え、謁見出来たことに感謝の意を表し、今回の目的・礁溪鄉訪問について話されました。

また先の選挙で皆様のご期待にお応え出来なく誠に申し訳御座いませんでした。日本よりも中華民国・台湾の多くの皆さんの友情励ましに感謝いたします。王院長は大江会長に「捲土重來」は東山再起（トサンサイチイ）と中国で謂うと紹介された。訪台団のお土産（台湾製のボールペンに加賀の金蒔絵を施した）に「台日合作の傑作品」と非常に喜ばれておりました。



鈴木喜代子団員の和服に興味を示された莊麗珍處長と記念撮影

台北市内の銘茶土産店に寄り
台北國賓大飯店へ。

外交部亞東關係協會・羅坤燦
秘書長主催歓迎晩餐会は、國賓
廳に於いて十八時半より開催。

李鴻鈞立先生は欠席されたが
同席・黃明朗元秘書長、蘇啓誠
副秘書長（那霸分處長）郭忠熙
専門委員（副秘書長、陳志任部
長、林雍凱秘書、莊文一秘書、
翁淑婷薦任科員、計八名。
亞東十名、合計十八名の大卓。
司会・林雍凱秘書で夕宴が開始



羅坤燦秘書長（宜蘭縣出身）は
訪台団に歓迎の意を表し、協会
に対し、台日友好親善活動に感
謝の意を述べられた。



大江会長は、歓迎晩餐会開催に
感謝の言葉を述べ、日台関係が
非常に良い状態で有り、協会の
民間交流活動について説明した。
黃先生が乾杯の発声をされ、
歓迎会が開始された。出席者の
自己紹介があり、蘇副秘書長は、
代表處那霸分處に異動になると
挨拶された。

二日目（十一月九日 土曜日）

宜蘭縣礁溪鄉・櫻木贈呈式典へ。
従来は台北より三時間余り要し
ていました。台北南港から宜蘭
縣蘇澳まで全長五五km北宜高速
道路が開通。東南アジア第一の
長さ十二、九km「雪山隧道」は
世界第五位。日本の技術による
ものです。台北から宜蘭まで四
十分と大幅な短縮となり、台北
市内より日帰り圏となりました。
また十月には、礁溪郷関係者一
行が南紀白浜温泉を訪れました。



【觀迎日本國亞東親善協會光臨贈接】
礁溪郷長林錫忠先生の歓迎の辞

大江会長率いる亞東親善協会
の貴賓のご来臨を歓迎して、
貴会の皆様が、日本の代表であ
る櫻を礁溪に寄贈する為にご来
訪されたことに感謝申し上げます。
我が郷は、櫻の植樹に最適な季
節に、貴会の寄贈された櫻を、
郷内の各所に、その特色ある風
貌とともに、友好関係の象徴と
して植樹させていただきます。



一、訪華を歓迎し、オリンピック招致の成功をお祝い申し上げます。訪華を通じ、更に深く我國の現況をご理解戴き、引き続き日本と我々の関係の促進に協力賜りますようお願いします。

二〇二〇年の開催権を得られ、隣国で行われることを喜び、日本がその祭典の頂点に向かわれると信じ期待するものであります

二、最近の台日関係の進展

我国政府は従来より対日関係を重視しており、近年台日関係は順調に進展し、「投資協定」「オープンスカイ」「漁業協定」等重要な協議が妥結し、双方の関係は四十年来、最も良い状態にあります。台日相互のじんてき訪問数は、昨年最高となり、台日双方が協力して、二〇一六年の相互の人的往来は、四百万人の目標の達成を推進していると

ころです。

三、大江会長が貴国の和歌山県白浜温泉国際観光交流協議会と我国宜蘭縣礁溪湯仔城温泉産業暨觀光發展協會との間に、本年六月に友好交流協定を締結され、大江会長が締結式典の見証人となられ、台日地方交流の模範となられたことを嬉しく思います。今後、私どもは双方の各地の産業協力、教育旅行、青年交流等を推進し、台日地方間が実質的の協力を通じて、相互の発展、相互の利益を促進し、両国の友好が増進されますことを、引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

大江会長挨拶

本年六月に和歌山県南紀白浜温泉と提携しました。今回の訪問の目的は、六月の提携時に約束をした「桜」をプレゼントする

為であり、私どもの協会も資金が豊富でないため、充分な数ではありませんけれど少しずつ増やしていきたいと思っています

また、礁溪温泉は人気がでてきており大好きな温泉地であるこのような贈呈式を設営されたことに感謝いたします。

大江会長より宜蘭縣礁溪郷公所林錫忠郷長に目録が贈呈され、並木副団長より宜蘭縣礁溪郷湯仔城温泉産業暨觀光發展協會蕭錫鑫理事長に「櫻苗木」が手渡された。贈櫻記念品として、日本で櫻模様の金箔時絵が施されたボールペン（台湾製）を贈呈した。礁溪温泉側からは、マスコットの貯金箱ほか特産品の詰め合わせが交換されました。

贈呈式終了後、記念午餐会が催されました。林錫忠郷長・蕭錫鑫理事長ほか、次の方がご出席。

礁溪郷公所・李錦池主任秘書
觀光産業發展所・邱麗容先生
礁溪郷民代表會・林森枝副代表
礁溪郷農會・李竹村理事長
湯仔城温泉協會・張翠芬總幹事
象設計集團・坂元卯先生
旭工實業（有）・林鼎鈞總經理
宜蘭縣議會・李清林副議長
宜蘭縣議會・吳宏謀議員



宜蘭縣の農水産物・お酒が供された



日本の「象設計集団・坂元卯氏」による湯田溝公園が造られている・

無料の足湯、温泉魚による角質除り（八十元）等の施設を露天形で設営



礁溪郷・呂美麗精雕藝術館で雲南普洱茶・陳年老茶で一休み。



台北市内に戻り、交流協会・岡田健二総務部長をお招きしての夕宴会開催



三日目（十一月十日 日曜日）
帰朝支度後、中正紀念堂視察へ。



昼食は、台北市郊外・猫空二樓茶餐廳でお茶の葉料理。



昼食後、時間調整を兼ねて免税店へ・下町の乾物品街散策。

松山機場へ、台湾觀光局が外国人観光客に配付しているギフトクーポンで記念品と交換。得した気分です。今回の訪台団は、日程の確定が三ヶ月前等、反省の余地が有りました。次回は必ず通訳を用意すること。観光ガイドでは無理があります。団員の皆様のご協力により、事故もなく無事に実施出来ました事、誠に感謝申し上げます。

（事務局・南部晴彦）

謹賀新年

平成二十六年

台北駐日經濟文化代表處 代表 沈 斯淳	公益財団法人交流協会 理事長 今井 正	日華親善協会全国連合会 平沼 赳夫 東京都千代田区永田町一、二、一八 相互永田ビル三階 電話〇三(三三〇〇)五八六一	自由民主党国会対策副委員長 衆議院議員 秋元 司 東京都江東区東陽五、三、一二 大興ビル三階 電話〇三(六六六六)一二二一
自由民主党副幹事長 衆議院議員 伊東 良孝 東京都千代田区永田町二、二、一 衆議院第一議員会館六三三号室 電話〇三(三五〇〇)七二七〇	衆議院議員 井上 信治 東京都千代田区永田町二、二、一 衆議院第一議員会館三七七号室 電話〇三(三五〇〇)七三三八	衆議院議員 金子 恭之 やすし 東京都千代田区永田町一、一、一二 衆議院第一議員会館四二〇号室 電話〇三(三五〇〇)七四二〇	衆議院議員 岸 信夫 東京都千代田区永田町二、二、一 衆議院第一議員会館二二〇号室 電話〇三(三五〇〇)一一〇三
参議院議員 鶴保 庸介 東京都千代田区永田町一、一、一 参議院議員会館三三三号室 電話〇三(六五五〇)〇三三三	国務大臣 国家公安委員長 衆議院議員 古屋 圭司 東京都千代田区永田町一、一、二 衆議院第一議員会館三三三号室 電話〇三(三五〇〇)七四四〇	参議院議員 松下 新平 東京都千代田区永田町一、一、一 参議院議員会館八四号室 電話〇三(六五五〇)〇八四四	農林水産副大臣 衆議院議員 吉川 貴盛 東京都千代田区永田町一、一、二 衆議院第一議員会館二二〇号室 電話〇三(三五〇〇)七四五一

謹 賀 新 年 平成二十六年

台北駐大阪經濟文化辦事處 處 長 蔡 明耀 大阪市西区千代堀一、四・八 日栄ビル四階 電話〇六（六四四）八四八一	台北駐日經濟文化代表處 札幌分處 處 長 陳 桎宏 札幌市中央區北西条四丁目一番地 伊藤ビル五階 電話〇一一（二二二）五三〇〇	日本中華聯合總會 會 長 毛利 友次 〒六七・〇〇六一 千葉市緑区土気町一六三・一 電話〇四三（二五九）七八二
台北駐日經濟文化代表處 横浜分處 處 長 粘 信士 横浜市中区日本大通り六〇 朝日生駒ビル一階 電話〇四五（六四）七七三七	愛知 和男 〒三三・〇〇八三 千代田区麹町一、二・一五〇六 電話〇九〇（八八〇）五六八七	中華民國留日橫濱華僑總會 會 長 施 梨鵬 理監事一同 神奈川県横浜市中区山下町一四番 電話〇四五（六八）二二一四
台北駐大阪經濟文化辦事處 福岡分處 處 長 戎 義俊 福岡市中央区桜坂三、二・四二 電話〇九二（七三四）二八二〇	新党改革栃木県第一支部 支部長 矢野 哲朗 〒三二・〇二五一 宇都宮市西川田町二〇〇四・二三 電話〇二八（六五八）七七五二	 台灣觀光協會東京事務所 所 長 江 明清 〒一〇五・〇〇〇三 東京都港区西新橋一、五・八 川手ビル三階 電話〇二三（五〇）二三五九
台北駐日經濟文化代表處 那覇分處 處 長 蘇 啓誠 那覇市久茂地二、一五・九 アルテビル那覇六階 電話〇九八（八六二）七〇〇八	一般財団法人台灣協會 理事長 根井 洌	チャイナ エアライン 日本支社長 石 炳煌 東京都千代田区内幸町一、二・一 日土地内幸町ビル八階 電話〇三（六三七）八八八〇 FAX〇三（六三七）八八八一

謹 賀 新 年

平成二十六年

チャイナエアラインズグループ （株）ダイナスティ ホリデー 代表取締役社長 國廣 傑 東京都中央区銀座二・九・七 陽銀座第一ビル五階 電話〇二（五五四）〇八八〇	学校法人 横濱中華學院 校長 馮 彦國 神奈川県横浜市中区山下町一四三番 電話〇四五（六八二）三六〇八	株式会社ホテル横須賀 代表取締役 長尾 和典 横須賀市米が浜通り一七 電話〇四六（八八五）一一一一 FAX〇四六（八八五）一一一一	株式会社ヒューマックス 代表取締役 林 瑞祥 東京都新宿区西新宿二・二〇・二 東京オペラシティタワー二階 電話〇三（三三七九）八〇〇〇 FAX〇三（三三七九）八〇〇三
有限会社台湾新聞社 代表取締役 劉 姿伶 東京都豊島区西池袋四・一九・四 電話〇三（五九七）〇〇四五 FAX〇三（五九七）〇六八六	アジア問題懇話会 大陸問題研究協会 会長 高野 邦彦	日華親善協会全国連合会理事 大分県一豊日華親善協会会長 大分県議会議員 志村 学 大分県臼杵市祐園四丁目 電話〇九七二（六二二）〇二六六	学校法人東京国際学園 東京外語専門学校 東京国際福祉専門学校 理事長・校長 武田 哲二 東京都新宿区西新宿七・三・八 電話〇三（三三七）二一〇一 FAX〇三（三三七）二一九七
有後藤泌尿器科皮膚科医院 院長 後藤 康文 岩手県宮古市大道一・三二・四 電話〇一九（六八）二六二〇	株式会社和興産業 代表取締役 千葉 祐三 東京都文京区千石三・一四・八 サンセチア文京四〇一 電話〇三（三五四）〇〇〇八 FAX〇三（六九〇）七〇二九	東光不動産株式会社 代表取締役 山口 裕志 東京都渋谷区富ヶ谷一・一・五 電話〇三（五七九）五七九〇 FAX〇三（五九〇）五七九九	有限会社沖山興業 代表取締役 沖山 建夫 東京都八丈島八丈町一丁目一八・一五 電話〇四九六（六八）〇一一一

謹 賀 新 年

平成二十六年

一般社団法人亜東親善協会 会 長 大江 康弘 東京都代田区平河町一・六一五 USビル四階 電話〇三・五二七五 〇八二〇 FAX〇三・二六四 九九三二	一般社団法人亜東親善協会 副会長 張 碧華 東京都代田区外神田二・七・七 電話〇三・三三三七 〇〇三二	一般社団法人亜東親善協会 専務理事 崎谷 秀彦	一般社団法人亜東親善協会 業務執行理事 赤松 則宏
あざみ野ローンテニスクラブ 代 表 益山 茂 横浜市青葉区あざみ野二・一九・一 電話〇四五（九〇）九〇二二	元内閣府大臣政務官・（元衆議院議員） 一般社団法人亜東親善協会 業務執行理事 並木 正芳 埼玉県所沢市泉町一七九二・十三 電話〇四（二九）四 八〇五〇	㈱マリノロジスティックス 代表取締役社長 小松 省二 東京都港区赤坂二・八・十四 丸玉第二ビル七階 電話〇三・六四二五 五〇八〇 FAX〇三・五八八 二四八四	エイチアイグループ TOKYO DAHANYEN 代表取締役 李ハロルド 東京都新宿区新宿五・一七・二三 電話〇三・三三〇三 〇〇三二
一般社団法人亜東親善協会 理 事 吳 淑娥	学校法人電子学園 日本電子専門学校 理事長 おおの ただかず 多 忠和	一般社団法人亜東親善協会 理 事 伊野 雅晴	一般社団法人亜東親善協会 理 事 柴田 徳文

お知らせ

【新春互礼会及び講演会のご案内】

互礼会に先立ち平成二六年二月十二日（水）ザ・キャピトルホテル東急・桐の間に五時より講演会 講師 海江田万里・衆議院議員 鳳凰東の間に六時より新春互礼会。○三・三五〇三・〇一〇九 台北駐日経済文化代表處代表・沈斯淳閣下、衆参国会議員、留日華僑団体等のご出席が予定されております。（参加会費一万円）

【平成二十五年 秋の叙勲】

協会関係の叙勲者、本文でも紹介いたしました。旭日大綬章は玉澤徳一郎・元農林水産大臣、長勢甚遠・元法務大臣、亀井久興元国土庁長官の三名の先生が、天皇陛下より勲章を親授された。旭日重光章は、金子善次郎元衆議院議員、谷川秀善元参議院議員の二名の先生が、内閣総理大臣から勲章と勲記を伝達されました。栄えある授章の榮譽に浴されましたこと、慶賀に存じます。

【協会事業について】

訪台団は三泊四日の予定、訪問地・開催時期の希望は事務局まで。社会見学会、講演会等、一般公開での開催を企画する予定です。

編集後記 季刊「亜東」平成二十六年 新春号

○多くの顧問・役員・会員の皆様のご寄稿誠に有難う御座いました。次号・季刊亜東春季号にご寄稿、台湾・協会に関する歴史・体験記録・旅行記・提言等お待ちしております。一頁・一三〇〇文字

二頁二六〇〇文字。写真も掲載可能です。締切日は三月二十日（木）Eメールにて事務局まで E-mail atousinzen@nifty.com

○協会活性化を目指し、会員の拡充を図っています。所定の入会申し込みに基づき理事会の議を経て会員になります。多くの皆様のご参加を期待します。会員各位のご紹介を、お願い申し上げます。

【年会費】①法人五万円以上。②賛助会員三万円。③個人一万円。

表題【亜東】は中華民国總統馬英九閣下の御揮毫です

季刊 **亜東** （アジアの架け橋）平成26年 新春号（No.48）

発行日 : 平成26年1月15日

発行所 : 一般社団法人亜東親善協会

編集 : 南部晴彦

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階

Tel:03-3261-6405 Fax:03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

台湾の魅力を、あなたにも。 チャイナ エアライン



チャイナ エアラインで、台湾の旅へ。

台北101や日月潭、阿里山など、見どころにあふれた台湾。

日本から飛ぶなら、チャイナ エアラインで。行き届いたサービス、快適なひととき…。

台湾を訪れるあなたを、心を込めたおもてなしで歓迎いたします。